

2026年9月期 第1四半期
決算補足説明資料



証券コード 5259

2026年2月13日

BBD Initiative
BBDイニシアティブ株式会社

INDEX



- I. 株式会社ヘッドウォータースとの経営統合について
- II. 2026年9月期 第1四半期 業績ハイライト
- III. 事業再編の進捗
- IV. 合併による事業成長戦略
- V. 今後のスケジュール

INDEX



I. 株式会社ヘッドウォータースとの経営統合について

II. 2026年9月期 第1四半期 業績ハイライト

III. 事業再編の進捗

IV. 経営統合による事業成長戦略

V. 今後のスケジュール

株式会社ヘッドウォータースとの合併契約を締結

上場廃止は終わりではなく、新たな成長への始まりです

当社は2026年5月1日に株式会社ヘッドウォータースと合併し、
新生ヘッドウォータースとして生まれ変わります。

これは、「SaaSベンダーからAIベンダーへ」の事業転換を加速させる戦略的統合です。

合併後も東京証券取引所グロース市場に上場を継続し、既存株主の皆様はヘッドウォータース株式を保有することで、両社のシナジーによる成長機会を享受いただけます。

発表日	2026年1月26日
合併効力発生予定日	2026年5月 1日
上場廃止予定日	2026年4月28日

経営統合の最大の狙い

- 両社の経営資源を結集し、「技術力×市場展開力」を融合
- 持続的な成長を実現し、国内外のAI/DX市場でリーディングポジションを確立する

市場環境の変化

生成AI技術の急速な進展により、AI/DX市場は飛躍的な成長を遂げる一方、競争環境は一層高度化。単なるDX化から、**AIを前提としたビジネス変革**への対応が急務。

2025年8月の資本業務提携を契機にAIの可能性を確信し、モデル変革へ着手。

BBDイニシアティブ



SaaS・BPOによる業務自動化

事業の軸足を大きく転換
DX (SaaS) → AX (AI Transformation)
Service → AI as a Service

ヘッドウォータース



AI実装のプロフェッショナル

- ✓ AI領域における高度な技術力・実装力
- ✓ クラウド基盤構築から業務効率化までカバー
- ✓ 企業のデジタル変革を技術面から強力に支援

経営統合スキーム

両社対等の精神で統合

方式：吸収合併

条件：両社の株主総会承認を前提



株式会社ヘッドウォータース

吸収合併存続会社



BBDイニシアティブ株式会社

吸収合併消滅会社



株式会社ヘッドウォータース
プロフェッショナルズ



株式会社ヘッドウォータース
コンサルティング



DATA IMPACT
JOINT STOCK COMPANY



株式会社LogTech



ブルーテック株式会社



株式会社RocketStarter



株式会社アーキテクトコア



ネットビジネス
サポート株式会社



ブーストマーケティング
株式会社

株式会社ヘッドウォータース
上場継続：東証グロース市場

合併比率

ヘッドウォータース
1株

BBDイニシアティブ
1株

1 : 0.5

※交付株式数：普通株式 2,260,412株

※単元未満株式：買取制度利用可 / 端数は現金交付

BBDイニシアティブ株式会社
上場廃止予定日：2026年4月28日

INDEX

- I. 株式会社ヘッドウォータースとの経営統合について
- II. 2026年9月期 第1四半期 業績ハイライト**
- III. 事業再編の進捗
- IV. 経営統合による事業成長戦略
- V. 今後のスケジュール



BBD

- 減損事業の整理や再編関連コストの影響を受けつつも、基盤事業は概ね堅調に推移
- 再編に伴う一時的コストと、固定費削減・事業整理による中期的な収益改善効果が並行して現れ始めている四半期
- 本四半期は合併に向けた事業再編期間のため、詳細KPIの開示を見合わせ

連結IFRS (累計期間)	FY2025 1Q 実績	FY2026 1Q		
		実績	YoY増減率	YoY増減額
売上収益	1,097 百万円	1,034 百万円	-5.7 %	-62 百万円
売上総利益	428 百万円	378 百万円	-11.5 %	-13 百万円
利益率	39.0 %	36.6 %		
営業利益	78 百万円	32 百万円	-58.9 %	-46 百万円
利益率	7.2 %	3.1 %		
調整後営業利益	157 百万円	117 百万円	-25.6 %	-40 百万円
利益率	14.3 %	11.3 %		
税引前利益	72 百万円	26 百万円	-63.0 %	-45 百万円
当期利益	41 百万円	△0.9 百万円	-102.2 %	-42 百万円

合併後の負担を減らす為に、早期に取り組むべき項目

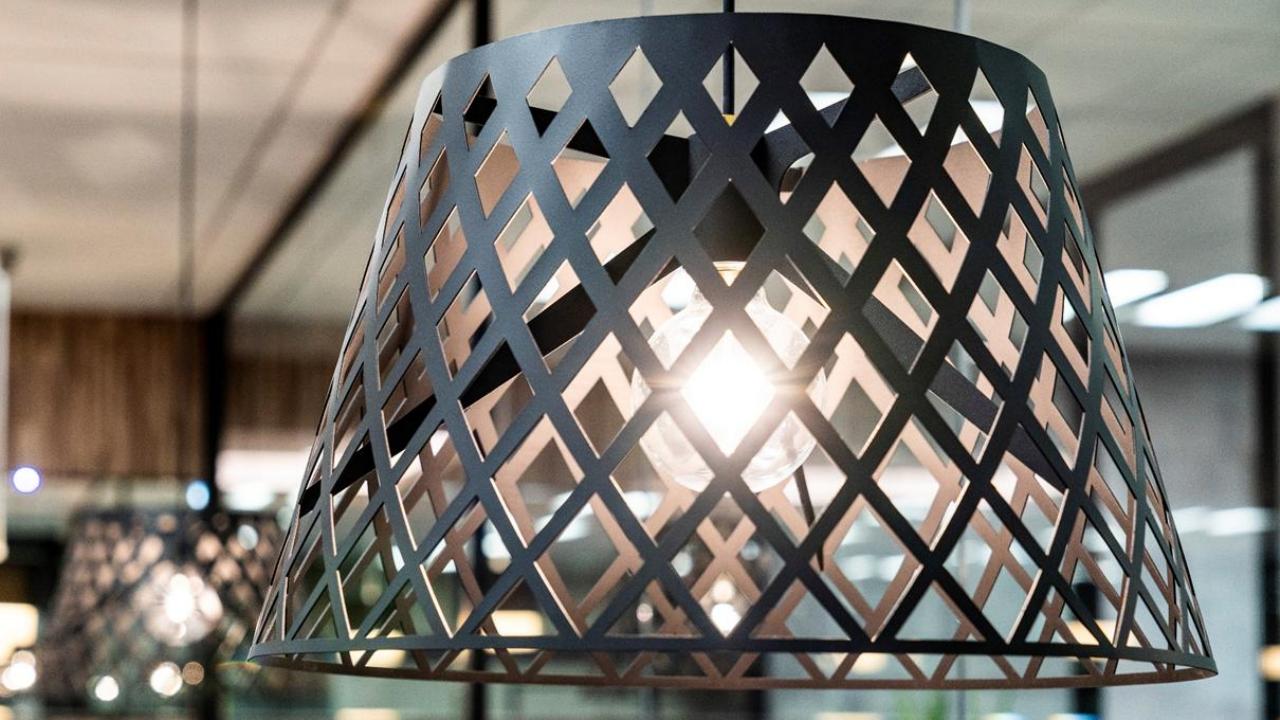
- ✓ 昨年減損した事業からの撤退に向け事業整理
- ✓ 機動力を上げ、コスト削減を目的にオフィス移転
- ✓ 合併に向け固定費・販管費削減
- ✓ 合併に向け事業の統廃合の検討
- ✓ ヘッドウォータース社とのPMI

INDEX

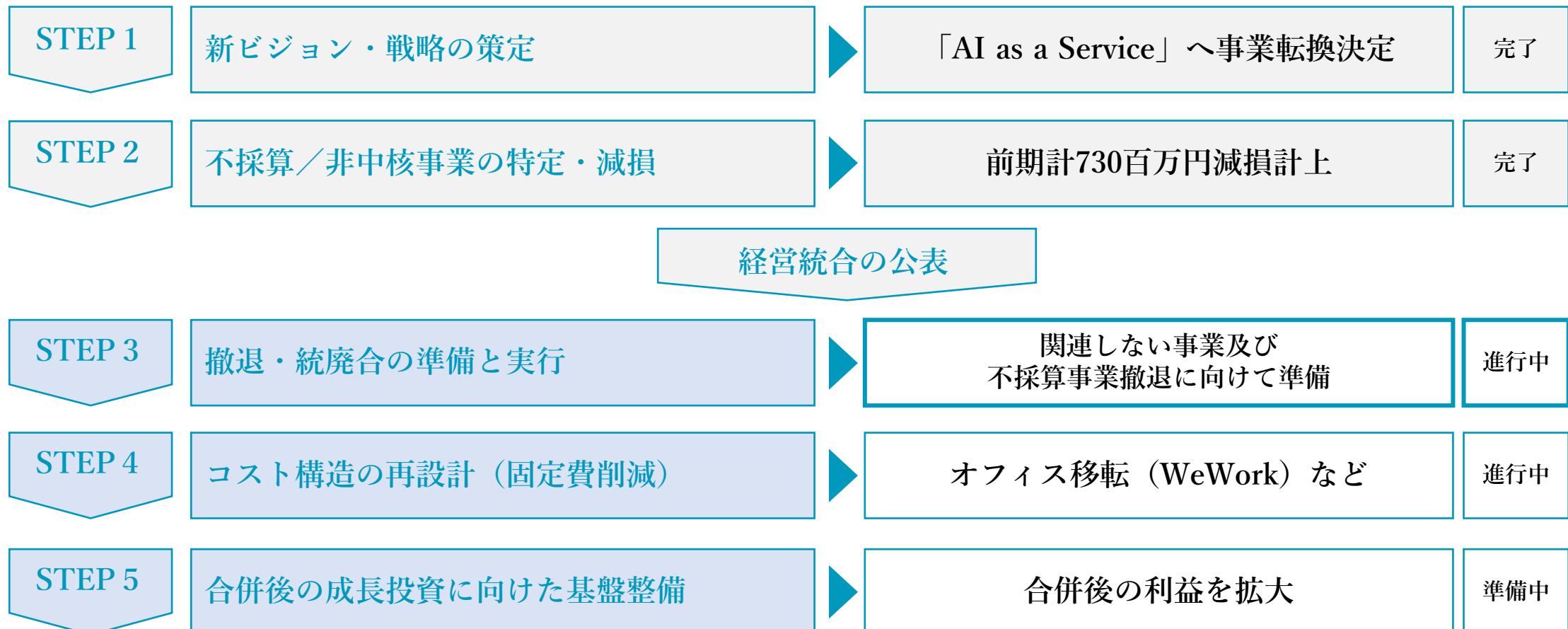
- I. 株式会社ヘッドウォータースとの経営統合について
- II. 2026年9月期 第1四半期 業績ハイライト

III.事業再編の進捗

- IV. 経営統合による事業成長戦略
- V. 今後のスケジュール



- 短期的に当社が取り組む施策は、5月1日合併効力発生日までに重点的に以下を実施
 - ・ 利益改善を目的にオフィス移転
 - ・ 合併によるビジョンから外れる事業又不採算事業からの早期撤退準備
- 当社単体では、再編関連の一時的コストを吸収しつつ、通期での利益確保を目指す
- 合併後は、ヘッドウォータースとの一体運営により、AX領域での成長加速とシナジー創出を図り、中長期的な企業価値向上を目指す



インサイドセールス支援事業からの一部撤退及び事業統合

理由： 顧客データ蓄積が難しく、AI as a Serviceへの転換との親和性が低い

対応： セールステック事業へ統合を検討
一部外販からの撤退
AI営業支援/顧客管理SaaS+企業データにインサイドセールス支援ノウハウを融合し新たなソリューション開発
インサイドセールス支援の人的リソースをAI as a Serviceインサイドセールスへ参加

効果： 統合によるセールス体制の強化

ビジネスブースト事業からの撤退準備

理由： AI推進に関連性が薄く、リソース集中が必要

対応： タレント広告体験サービス「ビジネスブースト」のサービス終了に向け準備
完全撤退または事業譲渡を準備中

効果： アライアンスフィー/運営コスト削減

愛宕オフィス から WeWork城山トラストタワーへ

2026年3月

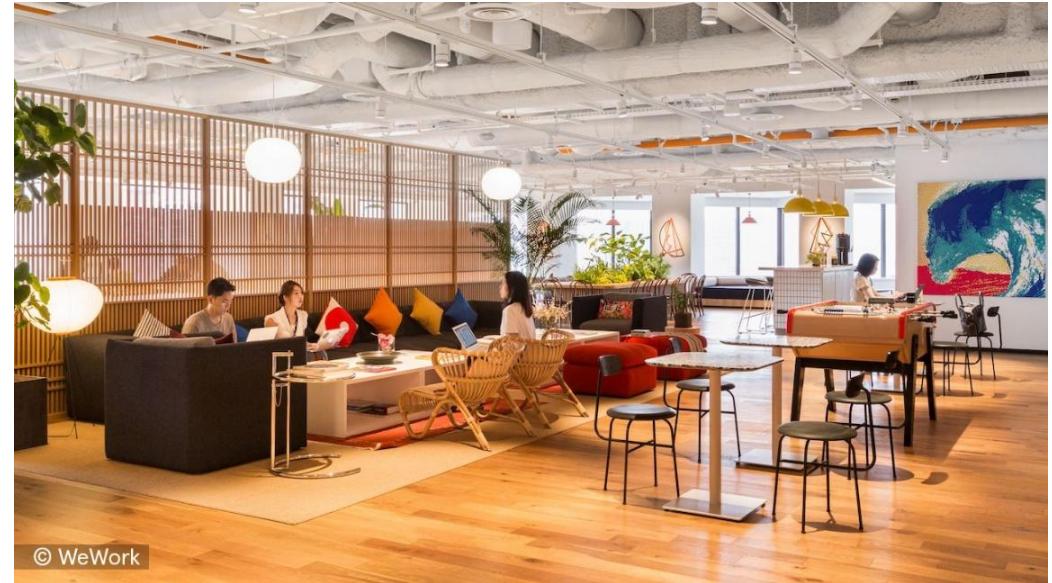
- ✓ リモートワーク定着を踏まえた柔軟なスペース運用
- ✓ 事業成長に応じた拡張・縮小が容易
- ✓ 固定費の変動費化により収益性改善

R&Dセンターの集約

2026年3月

- ✓ 開発拠点の集約による効率化
- ✓ コミュニケーション活性化
- ✓ 管理コスト削減

オフィス固定費 約 30% 削減目標



一次的なコスト発生がありますが、他、合併に向け固定費・販管費の削減に取り組んでいます。

統廃合の判断基準

1. 営業利益率：持続的な黒字化の見込み
2. シナジー創出：グループ内での相乗効果の可能性
3. AI事業との親和性：新ビジョンとの整合性

検討対象

株式会社RocketStarter

統廃合を検討中

ブーストマーケティング株式会社

統廃合を検討中

※最終決定は合併効力発生後に実施予定

コスト削減

事業撤退・統廃合による改善、オフィス最適化により固定費削減

30%以上の
利益貢献を目指す

営業利益率改善

FY2030目標達成に向けた体質転換

10% → 15%超

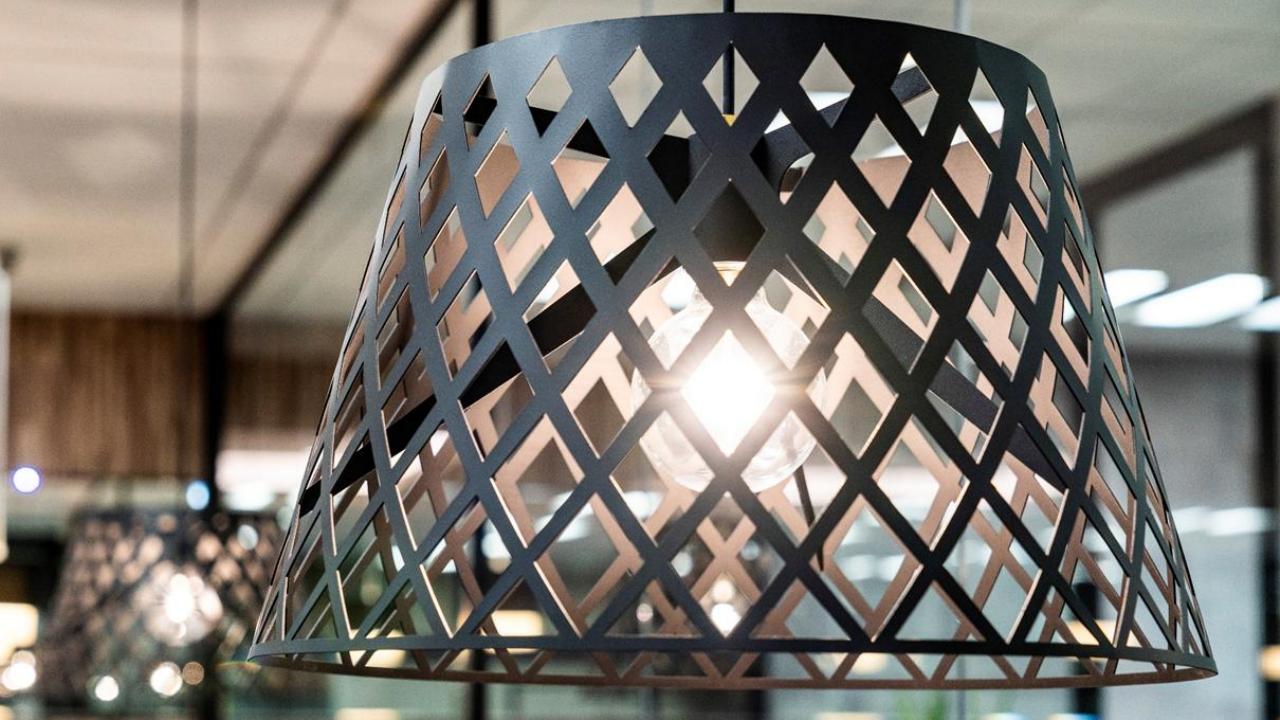
経営資源集中

成長領域への人材・投資の集中配分

AI関連事業へ注力

INDEX

- I. 株式会社ヘッドウォータースとの経営統合について
- II. 2026年9月期 第1四半期 業績ハイライト
- III. 事業再編の進捗
- IV. 経営統合による事業成長戦略**
- V. 今後のスケジュール



2017～2019年

東証マザーズ市場上場直後

- 大口顧客・特定パートナーへの依存度が高く、解約や株主構成の変化により、業績・株価が大きく影響を受ける局面を経験。
- 「中途半端な売上重視」「赤字と黒字のギリギリの経営」が続き、財務基盤・成長投資のあり方を見直す必要性を認識。

2023年

ホールディングス化と利益体質への転換

- BBDイニシアティブへの社名変更と持株会社体制への移行を実施。
- 減損・事業整理・組織改革により、赤字体質から継続的に利益を確保できる体質へシフト。

2023～2024年

財務構造・株主構成の再構築

- 浮動株比率の低下に伴う上場維持基準への対応として、第三者割当増資（新株予約権）による資本增强を決定。
- 借入金返済を進め、自己資本比率が大きく改善するなど、財務の健全化を実現。

2024年

株主優待導入とIR強化

- 社名・証券コード変更により低下していた認知度を回復するため、株主優待制度を導入し、個人投資家との接点を拡大。
- 認知向上と株価上昇を通じて、第三者割当増資（新株予約権）行使の完了とさらなる財務改善につなげる。

2025年

ヘッドウォータースとの資本業務提携

- 生成AIを含むAI技術の急速な進展を背景に、当社の「DX」から「AX」への転換を加速させるパートナーとして、ヘッドウォータースとの資本業務提携を締結。
- 共同プロジェクトやプロダクト連携を通じ、両社の事業親和性とシナジーの大きさを実務レベルで確認。

2025～2026年

経営統合の検討～合併契約締結

- AXシフト・AI as a Service化を本格化させる中で、「資本・人材・技術・財務基盤を一体化する」ことの必要性が高まる。
- 両社の取締役会・特別委員会・第三者算定機関・アドバイザーの関与のもと、合併比率を含む条件を慎重に協議。
- 2026年1月26日、両社取締役会で合併契約の締結を決議し、公表。

独立性の確保

- 両社は、それぞれ独立した第三者算定機関に合併比率の算定を依頼し、複数の評価手法（市場株価、類似会社比較、DCF）を用いて公正性・妥当性を検証。
- 当社側では、独立した特別委員会を設置し、交渉過程や条件の妥当性について意見を求め、その答申内容を最大限尊重。

デューデリジェンスとアドバイザー

- 両社は、相互に法務・財務・税務デューデリジェンスを実施し、リスクとシナジーを精査。
- 法律事務所・FA・会計専門家等から助言を受けながら、合併比率やその他条件について複数回議論を重ねたうえで合意に至る。

合併比率決定の考え方

- 両社の財務状況・資産状況・将来の事業計画・市場評価などを総合的に勘案。
- 当社側の第三者算定機関による算定レンジの中で、一般株主の利益を損なわない水準と判断した合併比率で最終合意。

■ 単独での「守りの再建」から、「統合による攻めの成長」へ

- ・ 減損・事業整理・財務改革により、“守り”の再建は一定の目途がついた。
- ・ 次のステップとして、AI・AX領域での成長機会を最大化するために、ヘッドウォータースとの統合という“攻め”的な選択を行った。

■ 統合による成長機会

- ・ 当社のAXプロダクト・顧客基盤と、ヘッドウォータースのAI実装力・R&D力を組み合わせることで、単独では実現し得なかったサービスとスピードを目指す。
- ・ 研究開発投資・人材採用・M&Aなど、成長のための打ち手を、より厚い財務基盤のもとで実行可能に。

■ 株主価値への接続

- ・ 当社株主は、BBDイニシアティブ1株につきヘッドウォータース0.50株の割当を通じて、統合後グループ全体の企業価値向上をダイレクトに享受。
- ・ 優待や単体での小規模な配当ではなく、「AI×AXという成長テーマへの集中投資」を通じて、株主リターンを高めていく方針。

SaaSを通じて
数十億以上の
営業に特化した
パラメータを蓄積

AI関連データ資産

販売を加速させる
ことが可能な
100社の
販売パートナー企業

営業資産

SMBを中心に
約7000社の
顧客基盤

営業資産

日本最大級の
鮮度が高く質の高い
BtoB企業データ
を保有

AI関連データ資産

約150名
の優秀なエンジニア
の保有

AIエンジニア資産

両社の強みを統合し、「1+1を3にも4にもする」持続的な成長を実現

AI/DX市場でのリーディングポジション確立へ

技術×プロダクト融合

AI実装のノウハウ
×
SaaSプロダクト群

- 高度なAI実装ノウハウとSaaSプロダクトの統合による次世代型「AI as a Service」の開発
- 既存SaaSの高付加価値化と新ソリューションの創出

クロスセル・アップセルの推進

人材リソースの統合

AIエンジニアリソースの結集

- 採用競争力の向上とAI人材育成体制の強化
- 開発スピードと品質の両立、対応案件数の拡大

R&D強化（生成AI・予測分析）

財務基盤の強化

企業価値拡大による
信用力向上

- R&D・M&A・新規投資への柔軟な対応体制
- 大規模な業界再編にも耐えうる基盤構築

自律した業務執行AIへ

ビックデータを
保有する
他社にはない
アドバンテージ

Big Data /
ビジネスデータ

AIインテグレーション
/ コンサルティング

業界に精通した
X-Tech・FDE※

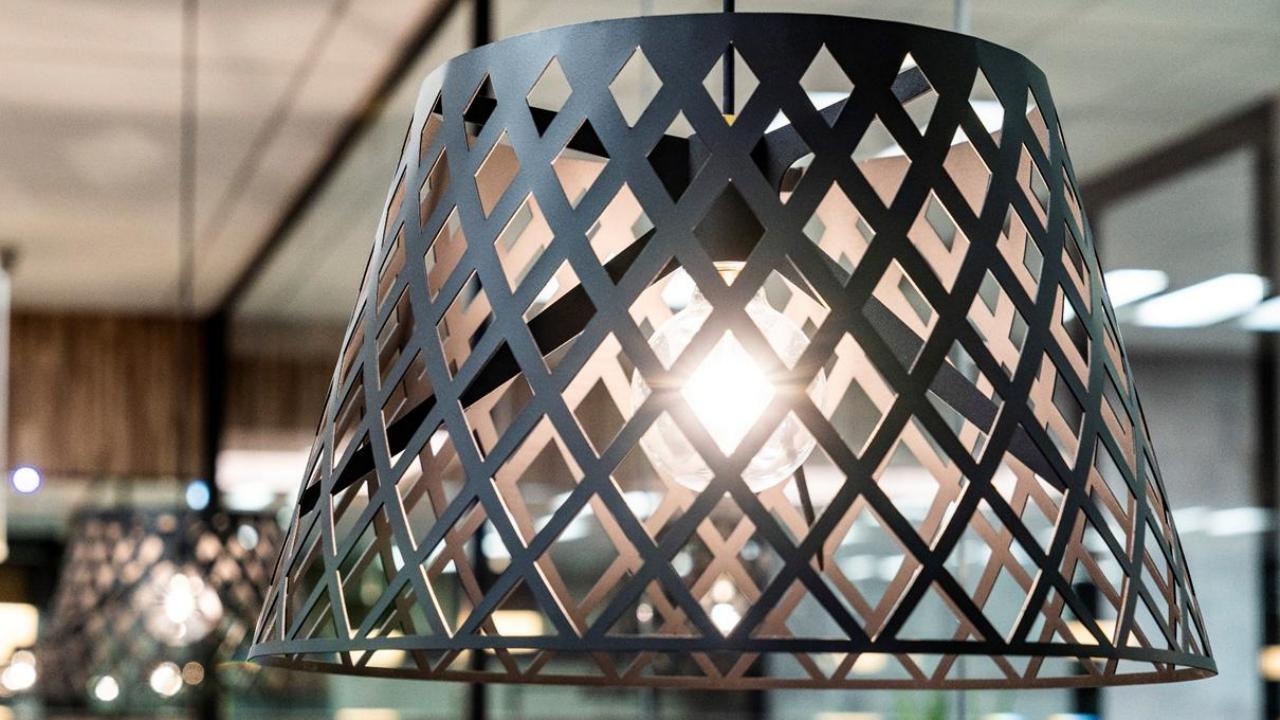
SaaSで蓄積したデータ
を核に進化する
AIベンダーへ

解約不能な
業務支配
ARR

業界特化型
AIエージェント
/ SaaS

INDEX

- I. 株式会社ヘッドウォータースとの経営統合について
- II. 2026年9月期 第1四半期 業績ハイライト
- III. 事業再編の進捗
- IV. 経営統合による事業成長戦略
- V. 今後のスケジュール**



2026年2月10日

臨時株主総会基準日（BBD）

2026年3月2日

本社移転（WeWork城山トラストタワー）

2026年3月27日

株主総会（両社）

2026年4月27日

最終売買日（BBD）

2026年4月28日

上場廃止（BBD）

2026年5月1日

合併効力発生日

1. 株主優待制度の廃止の理由

ヘッドウォータース及び当社の株主総会において本吸収合併契約の承認が得られた場合には、
同年4月28日（予定）に上場廃止となる見込みであることから、
今般、本吸収合併の効力が発生することを条件に、**株主優待制度を廃止**いたします。

2. 株主優待制度の廃止の時期

本吸収合併の効力が発生することを条件に、
2025年9月末日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様への贈呈を最終
として、株主優待制度を廃止いたします。

※合併後のヘッドウォータース株式会社の株主優待制度につきましては、 同社の方針に従います。

2026年9月期 通期予想及び詳細KPI開示の見合わせについて

2026年9月期 通期予想の公表

当社は、2026年3月27日に開催予定の臨時株主総会における承認を条件として、2026年5月1日を合併の効力発生日として吸収合併消滅会社となり、2026年4月28日付で上場廃止となる予定であることから、通期の業績予想の開示については見合わせることとします。

事業再編期間中のKPI開示の取扱い

現在、合併に向けた事業再編期間にあり、不採算事業からの撤退やサービスポートフォリオの見直しを進めています。この過程で従来のKPI（MRR、チャーンレート、契約企業数等）は一時的な変動要因が大きく、投資判断の材料として適切ではないと判断し、本四半期以降の開示を見合わせます。

合併完了後の対応

合併完了後、新生ヘッドウォータースとして新体制下で2026年9月期 業績予想及び適切なKPIを再設定し、開示いたします。



BBDイニシアティブ株式会社

共に新たな成長ステージへ